

子ども達から元気をもらう「あいさつ見守り隊」

「あいさつ見守り隊」の活動は、児童・生徒の登校時に緑が浜交差点、常盤町交差点など危険と思われる交差点に立ち、「おはようございます。」「行ってらっしゃい。」と声かけしながら一日安全に過ごせますようにとの願いを込めて見守りを行っています。

「おはようございます。」このあいさつが私は大好きです。子ども達の顔を見ながら、「おはよう。今日も元気で行ってらっしゃい。」「階段に気をつけて、滑らないようにね。」と声をかけて、子ども達のうれしそうなお顔を見るのが大好きです。汐見台小学校が開校してからずっと見守りをしています。「雨の日も風の日も」ハイタッチをしながら子どもたちから元気をもらい、私も元気でいるために動けるうちは見守りは続けて行きたいと思えます。

前園トシ子 <常盤町自治会>



朝の登校の見守りは、子ども達の元気な挨拶や地域の方々のご挨拶ができていつも元気をいただいています。ハイタッチをしてくれる子どもや赤信号で待っている時に、日々の出来事を話してくれる子どもがいます。朝の登校時間は、子ども達が渡る横断歩道に曲がって入ってくる車がとても多いので、ウインカーを出している車を早めに確認して旗を出すように心がけています。これからは子ども達が安全に登校できるように、サポートしていきたいと思えます。

佐越英子 <緑が浜自治会>

「おはようございます、行ってらっしゃい」「おはようございます、行ってきます」毎朝、通学路の交差点での挨拶。禅を修行しているお坊さん同士が出会ったとき、相手がどのくらい悟りの道を進んでいるかを確かめるやりとりを意味する「一挨拶」が短くなって「挨拶（あいさつ）」になったそうです。「挨拶」は相手に近づくこと、「挨拶」は相手にせまること。これからは笑顔であいさつ見守り隊の活動をさせていただきます。

小松真生 <浜竹四丁目自治会>



下校時のあいさつ見守りをしています。子ども達は本当に元気いっぱい帰ってきます。全速力で帰る子やお友達と遊びながら帰る子ども達。一年生はいろんな思いを抱えて帰る子どもですが、「さようなら。」と声をかけているうちに元気に二年生へと成長しています。毎日の子ども達の「さようなら。」「こんにちは。」で私は元気をもらっています。ありがとう。交通量の多い道なので、止まれ・左右の確認を忘れないようにしましょう。

鈴木文子 <汐見台自治会>

「あいさつ見守り隊」をやってみませんか

児童の通学の安心安全のため、あいさつの言葉がけや横断時の見守りなどしてみませんか？

児童とのあいさつで私たちも元気をもらっています。1週間に1回の見守りでも結構です。

朝の登校時7:50~8:25の時間帯です。見守り隊にご参加くださる方は下記にご連絡を。

- ・汐見台小学校 電話 0467-84-0031
- ・汐見台推進協メール nagisanoko2021@gmail.com



2025年1月 第25号
汐見台小学校区青少年育成推進協議会
会長 佐々木 睦子



「地域の皆様へ」

松浪中学校 校長 作道 亜貴子

松浪中学校、校長の作道でございます。日頃より地域の方々には子どもたちの見守りを始め、ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この4月に、室田小学校から中学校に異動してまいりました。小学校を経験し、小学校から中学校へ進学してくる子どもたち一人一人の成長を新たな視点で見えています。令和6年が終わろうとする中、中学生と共に大きな行事を経験し、中学生のものすごいエネルギーと力強さ、一つのことに臨む思いの熱さを感じました。同時に日々の思いをなかなか言葉にできない繊細さと大人でもない、子どもでもない不安定さも感じます。あの、何もかもこれから！という無邪気な小学校低学年を経て今、中学生に成長してきていることを改めて実感します。現在、3年生は自らの進路に向け日々格闘しています。1、2年生は後期中間試験に向け、苦手克服に努めています。様々なことを経験し、多くの人と関わりながら、自分の生きる道を少しずつ探してほしいと思っています。教職員一同、そんな子どもたちに寄り添いながら、共に歩んでまいります。

令和6年も残りわずかになってまいりました。1年を振り返り、締めくくりを行う時期です。子どもたちが健やかに成長できますよう、地域の方々にも諸活動を支えていただけると大変ありがたいです。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



「つながる力」

汐見台小学校 教頭 中山 卓哉

私は4月に汐見台小学校に赴任してまいりました。もう9か月が経とうとしていますが、その中で感じたことをお伝えしたいと思えます。汐見台小は、海にとっても近いので、退勤する時に学校から出るとよく汐の香を心地よく感じながら家路についています。夏に行われたビーチクリーン&ミニ運動会では、学校から出てすぐに素敵な砂浜や遠くに見えるきれいな景色が広がっているのをあらためて感じました。屋上の田んぼでは、5年生を中心に、地域の皆様にも田植えからお手伝いいただき、活動をする中でも、いつも海の存在を感じながら貴重な体験をさせていただきました。

また、毎朝子どもたちの安全を見守ってくださる、あいさつ見守り隊の皆様は子どもたち一人ひとりに笑顔で声をかけてくださっています。私も見守り隊の方とあいさつを交わすと、「今日もがんばろう！」と元気が湧いてきます。子どもたちにもきっと同じ思いをしている子がいるのではないのでしょうか。また、学校運営委員会や推進協の集まりにおいても、みなさん運動会での話やなぎさの子☆村まつりの話など、いつも学校を、子どもたちを中心に見てくださっていて、とてもあたたかく、とても頼もしく感じています。

この汐見台小学校で過ごす中で、子どもたちや地域の皆様との時間を重ねるほどに、地域の皆様の「つながる力」が、地域づくりだけでなく、学校も大きく支えてくださっていると感じています。私も、その一員として地域の皆様の習いながら力になっていけるよう、つながりを大切にしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



《2024年 なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会》

6月8日曜日、汐見台推進協では去年に引き続き3回目の「なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会」を行いました。子ども達や保護者の方にビーチクリーンの大切さを知ってもらい、海岸で安全に楽しく遊んでほしいという想いで始めました。さわやかな青空の下で、120名あまりの親子が集まりました。かながわ美化財団に用具などのご協力をいただき、ざるやふるいにかけて砂浜のごみを分別しました。小さなプラスチック破片やたばこ、木片などいろいろなごみが落ちているので子ども達は驚いていました。そのあとは、お楽しみのミニ運動会。ビーチフラッグとビーチフラックスを親子で楽しみました。ビーチフラックスではお父さんや校長先生が大活躍で子ども達の声援が飛び交いました。最後に宝探しをしておみやげを嬉しそうに持ち帰りました。暑い日でしたが子ども達一日頑張りました。



《児童の感想より》

- すごく楽しかったし暑かった。ごみもいっぱい落ちてたし、たくさんあった。ミニ運動会もたくさん種類があって楽しかった。学校での最後の学年だったのですごく楽しかったです。
- くつとばしが楽しかったです。ビーチフラックスがんばりました。
- 友達がいたから楽しかった。
- ごみをいっぱい取りました。たからさがしたのしかったです
- 宝探しが前よりむずかしかったです。ごみが思ったより多かったです。
- 走るのが楽しかったです。また、行きたいです。景品がなにがあたるかわからなかった。ビーチクリーンのみなさん大好き。
- 160本の花火がもらえてうれしかったです。ビーチフラックスがたのしかったです。
- 久しぶりに「なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会」に言ったら、いっぱいごみや枝があった。ミニ運動会では、ビーチフラックスはこんらんしてしまったけどすごく楽しかった。一番楽しかったのは宝探しです。
- ぼくは、今日『なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会』に参加して、久しぶりに「いいことしたなあ。」と思いました。海ではだして歩く人がけがをしなくなったし、海の魚がまちがってごみを食べて死んでしまうことが少なくなったからです。
- ビーチフラックスがむずかしかった。宝探しが楽しかった。
- 今日はありがとうございました。景品もくださってありがとうございました。楽しかったです。またやりたいです。

《夏の寺子屋》

夏休みに「夏の寺子屋」を開催しました。汐見台小学校の運営協議会が主催、汐見台推進協が協力し学習支援や子どもの居場所作りを目的として行いました。今年は、松浪コミセンだけでなく、汐見台小学校でも行いました。子ども達は、夏休みの宿題や自由研究など自分のやりたい物を持ち込み自由に学べます。松浪コミセンで行われた7/25と7/31の寺子屋では、子ども達の学習後、「ぶっとびロケット」や「マジックミラー」の工作をしたり、パリオリンピック開催中だったのでピクトグラムクイズをして盛り上がりました。汐見台小学校で行われた8/6と8/22の寺子屋は、中東さんから「イネのふしぎ」のお話を聞いて、屋上の田んぼを見学に行きました。青々と成長した田んぼで子ども達は夢中で虫を探したりしました。その後屋上で取ってきた田んぼの水を顕微鏡で見て、子ども達は小さな微生物が見えたことに興奮していました。最終日は、学習の後で、紙コップでプーメンを作り体育館で思いっきり飛ばして遊びました。子ども達より参加した地域の方が夢中になっていたのは微笑ましかったです。子ども達は小学校でしかできない貴重な体験ができたのではないのでしょうか。4回でしたが、参加した子どもたちは35人ほど。見守る大人は地域の方々、年齢も様々です。汐小の先生方も参加していただきました。お友だち同志で勉強したり、兄弟で勉強したり、大人の方に教えてもらったり、工作をしたり、田んぼの見学をしたりと世代を超えて一緒に学び活動できる場所があるということに意味があると感じるひとときでした。(佐々木)



《盆踊り大会模擬店》

8/10、松浪地区盆踊り大会が開催され、推進協はフランクフルトの販売をお手伝いしました。やぐらを囲んで、大勢で輪になって踊る姿は、美しい日本の文化だと思います。暑い中準備するのは大変でしたが、おまつりを楽しんでいる子ども達を見ると、参加出来て良かったなと思いました。(小黒)



《杜協ふれあい福祉まつり》

10/6、日中は23度もあり汗をかくほどの暑い日でした。そのお陰で、ジュースが早く完売してしまいました。なかには、ジュースを2回も買ってくれる子どももいました。フランクフルトとジュースで、楽しく過ごしてくれてよかったです。(川野)



《松浪コミセンまつり》

10/27に松浪コミュニティセンターにてコミセンまつりが開催されました。そこで行ったスーパーボールすくいでは地域の子もたちがたくさん遊びに来てくれました。20個以上すくい上げる子がいたり、何度も挑戦してくれる子がいたり元気な子どもたちの姿が見れて、とても楽しく過ごすことができました。(和田)

